4-133-714-**03**(1)

SONY

HDR-TG5V

デジタルHDビデオカメラレコーダー

取扱説明書

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告 安全のために

→ 60 ～ 62ページも
あわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害など人への危害**、また**火災などの財産への損害**を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐにソニーの相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

**変な音・においがしたら
煙が出たら**

→

1. **電源を切る**
2. **電池をはずす**
3. **ソニーの相談窓口に連絡する**

裏表紙に**ソニーの相談窓口の連絡先**があります。

⚠危険 万一、電池の液漏れが起きたら

1. **すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。**
2. **液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。**
3. **液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。**
4. **液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。**

警告表示の意味

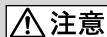
この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

⚠危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

⚠警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

指示

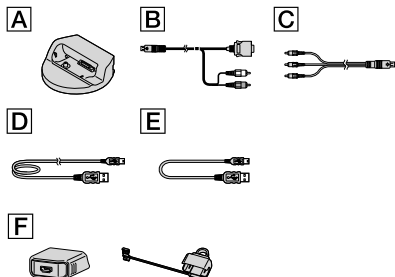
電池について

「安全のために」の文中の「電池」とは、バッテリーパックも含みます。

使用前に必ずお読みください

付属品を確かめましょう

はじめに、付属品を確認してください。万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。（　）内は個数。

- □ ACアダプター（1）
- □ 電源コード（1）
- □ "ハンディカム"ステーション（1） A
- □ D端子A/Vケーブル（1） B
- □ A/V接続ケーブル（1） C
- □ USBケーブル（長）（1） D
- □ USBケーブル（短）（1） E
- □ 専用USB端子アダプター（1）/USBアダプターキャップ（1） F
  あらかじめ、USBケーブル（短）に取り付けられた状態で同梱されています。
- □ リチャージャブルバッテリーパック NP-FH50（1）
- □ リストストラップ（1）
- □ CD-ROM「"Handycam" Application Software」（1）（23ページ）
  - 「PMB」（ソフトウェア、「PMBガイド」を含む）
  - 「"ハンディカム" ハンドブック」（PDF）
- □ 取扱説明書 ＜本書＞（1）
- □ 保証書（1）

- 本機で使える"メモリースティック"については、41ページをご覧ください。

使用上のご注意

本機の取り扱いについて

- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「取り扱い上のご注意」をご覧ください（52ページ）。
- 本機の（動画）ランプ/（静止画）ランプ（11ページ）やアクセスランプ（41ページ）が点灯、点滅中に次のことをしないでください。記録した動画・静止画が失われたりする場合があります。また、記録メディアや本機の故障の原因になります。
  - "メモリースティック PRO デュオ"を取り出す
  - 本機からバッテリーやACアダプターを取りはずす
  - 本機に衝撃や振動を与える
- 本機に振動や衝撃を与えないでください。記録や再生ができなくなることがあります。
- 本機をケーブル類で他機と接続するときは、端子の向きを確認してつないでください。無理に押し込むと端子部の破損、または本機の故障の原因になります。
- USB接続時に液晶画面を閉じると、記録した映像が失われる場合があります。
- 本機の電源が入っていなくても、GPSスイッチがONになっているとGPSは動作します。飛行機の離着陸時は、GPSスイッチをOFFにしてください。
- 長期間、画像の撮影・消去を繰り返していると、記録メディア内のファイルが断片化（フラグメンテーション）して、画像が正しく記録・保存できなくなる場合があります。このような場合は、画像を保存したあと、[メディア初期化]を行ってください（39ページ）。
- 液晶画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えなかったりすることがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。

本機やバッテリーの温度に関するご注意

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために撮影や再生ができなくなることがあります。この場合は、本機の液晶画面にメッセージが表示されます(51ページ)。

録画・録音に際してのご注意

- 事前にためし撮りをして、正常に録画・録音できることを確認してください。
- 万一、ビデオカメラレコーダーや記録メディアなどの不具合により記録や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたがビデオで録画・録音したものは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 万一のデータ破損に備えて、撮影した画像データを定期的に保存してください。画像データはパソコンを使ってDVD-Rなどのディスクに保存することをおすすめします。ビデオ、DVD/HDDレコーダーで画像データを保存することもできます。

他機での再生に際してのご注意

- 本機は、ハイビジョン画質(HD)の記録にMPEG-4 AVC/H.264のHigh Profileを採用しております。このため、本機でハイビジョン画質(HD)で記録した動画は、次の機器では再生できません。
  - High Profileに対応していない他のAVCHD規格対応機器
  - AVCHD規格非対応の機器

ハイビジョン画質(HD)で記録したディスクは

- AVCHD規格対応機器でのみ、再生できます。DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、ハイビジョン画質(HD)で記録したディスクを再生できません。また、これらの機器にAVCHD規格で記録したハイビジョン画質(HD)のディスクを入れた場合、ディスクの取り出しができなくなる可能性があります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本書について

- 画像の例としてスチルカメラによる写真を使っています。画像や本機の画面表示は、実際に見えるものと異なります。
- 本書では、内蔵メモリー、"メモリースティック PRO デュオ"を「記録メディア」といいます。
- 本書では、"メモリースティック PRO デュオ"・"メモリースティック PRO-HG デュオ"を「"メモリースティック PRO デュオ"」と表現しています。
- 付属のCD-ROMには、「"ハンディカム" ハンドブック」が収録されています(49ページ)。
- 本書の説明に使用しているパソコンの画面は、Windows Vistaのものです。お使いのOSによって画面表示は異なります。

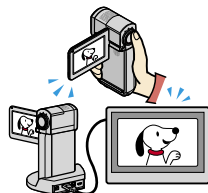
使いかたの流れ

撮る（13ページ）

- お買い上げ時の設定では、動画、静止画ともに内蔵メモリーに記録されます。動画の画質はハイビジョン画質（HD）になります。
- 記録メディアを変えられます（40ページ）。

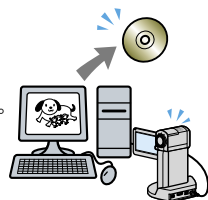
見る（17ページ）

本機で見る（17ページ）

テレビにつないで見る（20ページ）

ディスクに保存する

パソコンを使って保存する（29ページ）

- ハイビジョン画質（HD）の動画をパソコンに取り込むと、ハイビジョン画質（HD）、標準画質（SD）から選んでディスクを作れます。ディスクの説明は26ページをご覧ください。

DVDライター、レコーダーを使ってディスクを作る（35ページ）

削除する（39ページ）

- 保存済みの動画・静止画を本機のメディアから削除すると、空いたメディアの記録可能領域に、再び記録できます。

目次

使いこなす

その他

準備1：バッテリーを充電する

専用の"インフォリチウム"バッテリー NP-FH50を本機に取り付けて充電します。

- "インフォリチウム"バッテリー NP-FH50以外は使えません。

1 DCプラグの▲マークを上にして、"ハンディカム"ステーションのDC IN端子につなぐ。

2 電源コードをACアダプターとコンセントにつなぐ。

3 本機の液晶画面を閉じて、電源を切った状態にする。

4 バッテリーを入れる。

①バッテリー /メモリースティック デュオカバーを開ける。
②バッテリーを矢印の向きに「カチッ」というまで押し込む。
③バッテリー /メモリースティック デュオカバーを閉じる。

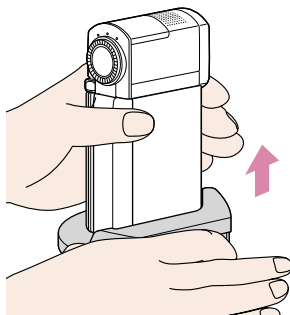
5 本機を"ハンディカム"ステーションに図の向きで奥まで確実に取り付ける。

ϟ/CHG（充電）ランプが点灯し、充電が始まります。

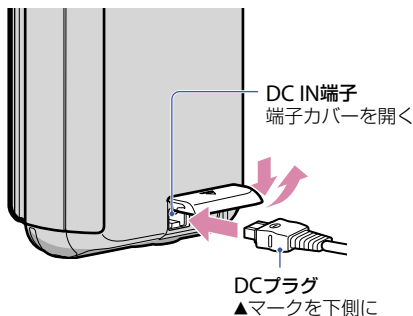
充電が完了すると⚡/CHG（充電）ランプが消えます（満充電）。

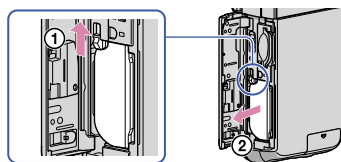
- 充電・撮影・再生可能時間は、55ページをご覧ください。
- 電源を入れて撮影画面にすると、画面左上のバッテリー残量表示でおおよそのバッテリー残量を確認できます。
- 本機を"ハンディカム"ステーションに取り付けるときは、本機のDC IN端子のカバーを閉じてください。
- ACアダプターを抜くときは、"ハンディカム"ステーションとDCプラグを持って抜いてください。

本機を"ハンディカム"ステーションから取りはずすには

液晶画面を閉じて、本機と"ハンディカム"ステーションを持って取りはずす。

ACアダプターのみで充電するには

液晶画面を閉じて電源を切った状態で、本機のDC IN端子に直接ACアダプターをつないで充電する。

準備する

バッテリーを取りはずすには

電源を切り、バッテリー/メモリースティック デュオカバーを開ける。
バッテリー取りはずしつまみをずらして(①)、バッテリーを取り出す(②)。

- バッテリーが落下しないようにご注意ください。

コンセントの電源で使うには

「バッテリーを充電する」のつなぎかたのまま操作する。

バッテリー、ACアダプター使用時のご注意

- バッテリーやACアダプターを取りはずすときは、本機の液晶画面を閉じ、(動画)ランプ/(静止画)ランプ(11ページ)が消えていることを確認してください。
- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- ACアダプターのDCプラグやバッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- お買い上げ時は、電源を入れてなにもしない状態が約5分間続くと、バッテリー消耗防止のため、自動的に電源が切れます([自動電源オフ])。

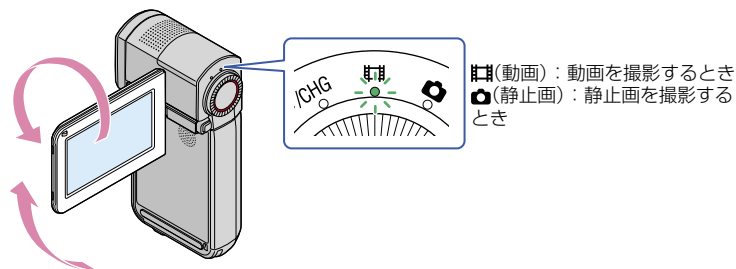
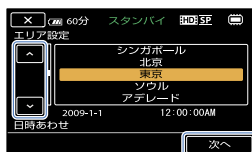
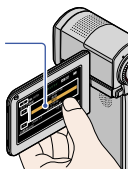
海外で充電するには

付属のACアダプターを使って全世界で充電できます。ただし、地域によって電源プラグの形が異なるので変換プラグが必要です。旅行代理店などでご確認ください。

- 電子式変圧器(トラベルコンバーター)は使用しないでください。

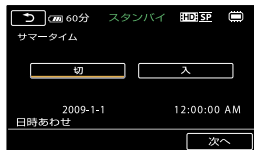
準備2：電源を入れて日時を合わせる

1 本機の液晶画面を開く。

レンズカバーが開き、電源が入ります。

2 ⌃/⌄ でエリアを選び、[次へ]をタッチする。

- 再度、時計あわせをするには、MENU（メニュー）→ 13［時計設定］の［日時あわせ］の順にタッチします。画面にないときは、⌃/⌄ をタッチして項目を表示させます。

3 同様にサマータイムを設定し、日時を設定して、OK をタッチする。

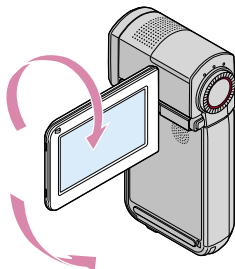
時計が動き始めます。

- ［サマータイム］を［入］にすると、時計が1時間進みます。

- 日付時刻は撮影時には表示されません。撮影した記録メディアに自動的に記録され、再生時に表示させることができます。表示させるには、MENU（メニュー）→ 8［再生設定］の［日時/データ表示］→［日付時刻データ］→ OK → ✕ をタッチします。

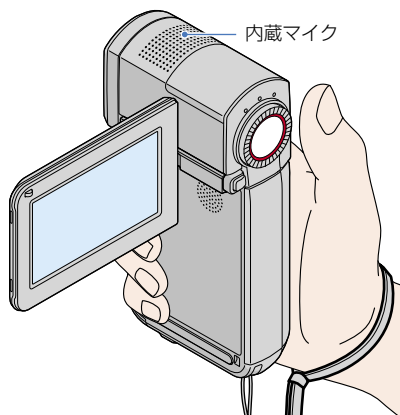
準備する

• ボタンをタッチしたときなどの操作音を消すには、MENU（メニュー）→ 11［音/画面設定］の［操作音］→［切］→ OK → ✕ をタッチします。
• 一度日時を設定したあとは、［自動時刻補正］/［自動エリア補正］を［入］に設定しておくと自動的に日時が補正されます。地域によっては正しい時刻にならない場合があります。その場合は［切］に設定してください。

電源を切るには

液晶画面を閉じる。（動画）ランプが数秒間点滅して、電源が切れます。

撮る

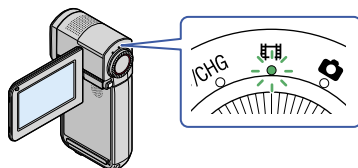
動画を撮る

お買い上げ時の設定では、動画はハイビジョン画質（HD）で内蔵メモリーに記録されます（40、45ページ）。

• 撮影時に内蔵マイクを触らないでください。

---

1 本機の液晶画面を開く。

レンズカバーが開き、本機の電源が入ります。

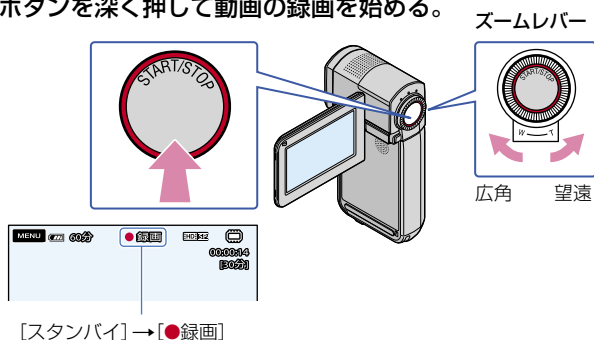
---

2 START/STOPボタンを深く押して動画の録画を始める。

START/STOP

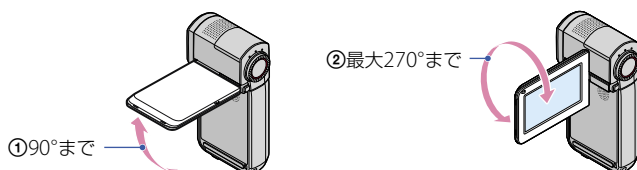
ズームレバー

広角　望遠

MENU 60分 ●録画 00:00:14 [30分]

［スタンバイ］→［●録画］

撮影をやめるときは、START/STOPボタンをもう一度深く押します。

- ズームレバーを動かすとズームします。軽く動かすとゆっくり、さらに動かすと速くズームします。
- 液晶画面の表示は、電源を入れたり、撮影/再生モードを変えてから約5秒経つと消えます。もう一度表示するには、液晶画面をタッチしてください。

- 撮影中に液晶画面を閉じると、録画が中止されます。
- 動画の撮影可能時間は55ページをご覧ください。
- 動画のファイルサイズが2GBを超えると、自動的に次のファイルが生成されます。
- 記録メディアや画質を変更できます（40、45ページ）。
- 動画の録画モードを変更できます（45ページ）。
- [手ブレ補正]機能は、お買い上げ時の設定は[入]です。
- 液晶画面を見やすく調節するには、液晶画面を90°まで開き（①）、見やすい角度に調節してください（②）。液晶画面をレンズ側に270°回して（②）自分撮り（対面撮影）できます。

- お買い上げ時の設定では、動画撮影中に人物の笑顔を検出して、自動的に静止画を記録します（[スマイル検出設定]/[顔枠表示設定]）。スマイル検出の対象となる顔にオレンジ色の枠が表示されます。メニューで設定を変更できます（45ページ）。
- デジタルズームを使うと、さらにズーム倍率を上げられます。MENU（メニュー）→ 2 [撮影設定]の[デジタルズーム] → 好みの設定 → OK → ✕ をタッチして設定します。
- x.v.Colorに対応したテレビで見るときは、あらかじめ MENU（メニュー）→ 3 [記録設定]の[X.V.COLOR] →[入] → OK → ✕ にして撮影してください。再生時にはテレビ側の設定が必要になる場合があります。テレビの取扱説明書もご覧ください。

静止画を撮る

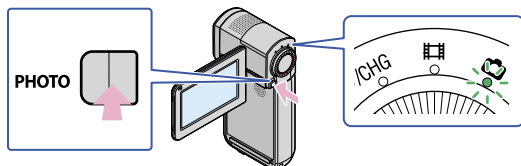
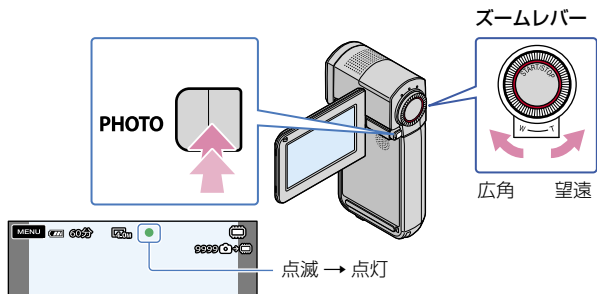
お買い上げ時の設定では、静止画は内蔵メモリーに記録されます（40ページ）。

---

1 本機の液晶画面を開く。

レンズカバーが開き、本機の電源が入ります。

2 PHOTOボタンを軽く押して、(静止画)ランプを点灯させる。

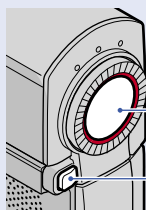
静止画撮影モードに切り換わり、画像の横縦比が4：3になります。

3 PHOTOボタンを軽く押してピントを合わせてから、そのまま深く押す。

が消えると記録が完了します。

- ズームレバーを動かすとズームします。軽く動かすとゆっくり、さらに動かすと速くズームします。

- 静止画の撮影可能枚数は、液晶画面で確認してください(57ページ)。
- 画像サイズは、MENU (メニュー) → 5 [静止画設定]の[画像サイズ] → 好みの設定→ OK → ✕ をタッチして変更できます。
- 暗い場所では自動的にフラッシュが発光します。動画撮影中は発光しません。フラッシュ発光方法は、MENU (メニュー) → 5 [静止画設定]の[フラッシュモード] → 好みの設定→ OK → ✕ をタッチして変更できます。
- 表示中は静止画撮影できません。

撮る

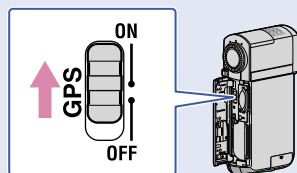
撮影モードを切り換えるには

動画撮影モードにするにはSTART/STOPボタンを軽く押します。静止画撮影モードにするには、PHOTOボタンを軽く押します。

GPSを使って撮影地を取得するには

GPSスイッチを「ON」にすると、 が表示され、GPS衛星から位置情報の取得が行われます。

取得した位置情報を使って地図インデックスなどの機能が使えます。

GPS衛星からの電波の受信状況によって画面に表示されるアイコンが変わります。

- 飛行機の離着陸時はGPSスイッチを「OFF」にしてください。

- 収録されている日本地図は株式会社ゼンリン、海外地図はNAVTEQによって提供されています。

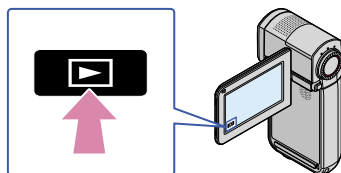
本機で見る

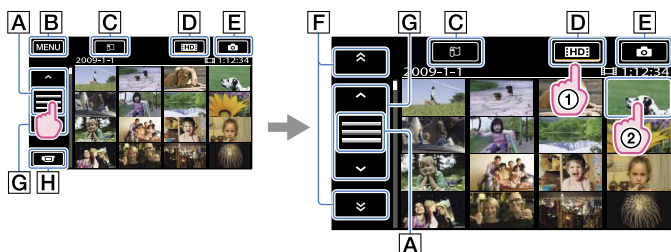
お買い上げ時の設定では、内蔵メモリーに記録した動画や静止画を再生します(40ページ)。

動画を見る

1 本機の液晶画面を開く。

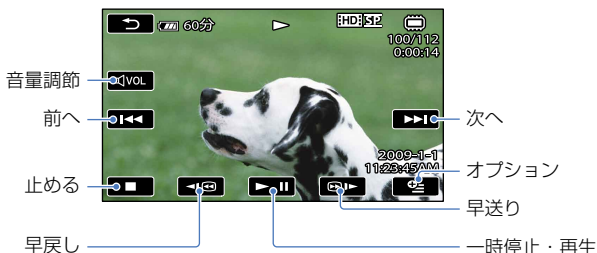
レンズカバーが開き、本機の電源が入ります。

2 (再生)をタッチする。

数秒後にビジュアルインデックス画面が表示されます。

3 HD(またはSD)(①)→見たい動画(②)をタッチする。

A 操作ボタンの切り換え
B メニューへ
C 地図インデックスを表示する。
D HD:ハイビジョン画質(HD)で記録した動画を表示する。
E :静止画を表示する。
F / :前の撮影日へ/次の撮影日へ
G / :前の動画へ/次の動画へ

H 撮影画面へ

- FやGをタッチしたままずらすと、画面をスクロールできます。
- 最後に再生・撮影した動画や静止画に ▶I が表示されます。タッチすると前回のつづきから再生されます。（"メモリースティック PRO デュオ" に記録された静止画は ▶）

動画の再生が始まります。

- 選んだ動画から最後の動画まで再生されると、ビジュアルインデックス画面に戻ります。
- 一時停止中に ◀II⏪/⏩II▶ をタッチすると、スロー再生が始まります。
- 再生中、◀II⏪/⏩II▶ はタッチする回数によって、約5倍速 → 約10倍速 → 約30倍速 → 約60倍速で再生します。
- MENU （メニュー） → 6［再生］の［V. インデックス］をタッチして、ビジュアルインデックスを表示することもできます。
- 液晶画面を180°反転したまま閉じて、ビジュアルインデックスを表示することもできます。
- 撮影時に日付時刻と撮影条件を示したカメラデータ、緯度経度データが、自動的に記録されます。これらのデータは、撮影中は表示されませんが、MENU （メニュー） → 8［再生設定］の［日時/データ表示］ → 好みの設定 → OK → ✕ をタッチすると再生時に表示できます。

音量を調節するには

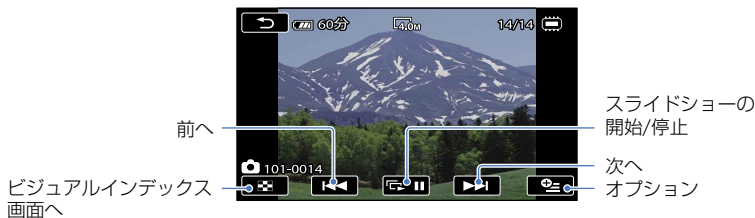
動画再生中に、VOL → −/+で調節 → ⮌ をタッチする。

- オプションメニューからも −/+ で調節できます。

静止画を見る

ビジュアルインデックス画面で、[カメラアイコン]（静止画）（①）→見たい静止画（②）をタッチする。

A 操作ボタンの切り換え
B メニューへ
C 地図インデックスを表示する。
D HD：ハイビジョン画質（HD）で記録した動画を表示する。
E [カメラアイコン]：静止画を表示する。
F ⌃⌃/⌄⌄：前の撮影日へ/次の撮影日へ
G ⌃/⌄：前の静止画へ/次の静止画へ
H 撮影画面へ

静止画が再生されます。

- 静止画再生中に、ズームレバーを動かすと、再生ズームできます。再生ズーム中に画面をタッチすると、タッチした部分が画面中央に表示されます。
- 静止画の記録メディアが“メモリースティック PRO デュオ”のときは、101▸（再生フォルダ）が表示されます。

見る

テレビにつないで見る

テレビの種類や接続する端子によって、接続方法やテレビに映る画質（ハイビジョン（HD）/標準（SD））が異なります。メニューの［テレビ接続ガイド］が、お使いのテレビにあった接続方法を教えてくれます。

［テレビ接続ガイド］を使ってテレビにつなぐ

1 テレビの入力設定を切り換える。

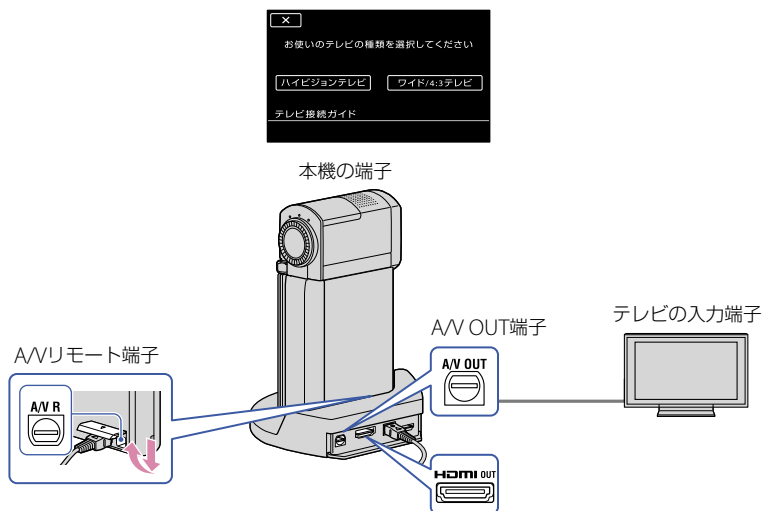
- 詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

---

2 本機の電源を入れ、液晶画面で MENU （メニュー）→ 9［その他の機能］の［テレビ接続ガイド］の順にタッチする。

- 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントから取ってください（10ページ）。

---

3 ［テレビ接続ガイド］の指示に従って、テレビにつなぐ。

- A/V接続ケーブルを使って接続すると、出力される画質は標準画質（SD）になります。
- A/Vリモート端子は本機に、A/V OUT端子は“ハンディカム”ステーションにそれぞれ装備されています。A/V接続ケーブルやD端子A/Vケーブルは“ハンディカム”ステーションまたは本機のどちらかに接続してください。

4 本機で動画、静止画を再生する（17ページ）。

（17ページ）

- 必要に応じてテレビに合わせて、本機のメニューを設定します。
  テレビのD3、D4、D5端子に接続するとき
    MENU（メニュー）→ 12 [出力設定]の[コンポーネント出力]→[D3]→ OK → ✕
  テレビのD1端子に接続するとき
    MENU（メニュー）→ 12 [出力設定]の[コンポーネント出力]→[D1]→ OK → ✕
  画面の比率が4：3のテレビに接続するとき
    MENU（メニュー）→ 12 [出力設定]の[TVタイプ]→[4:3]→ OK → ✕
  ブラビアリンクを使うには
    MENU（メニュー）→ 14 [一般設定]の[HDMI機器制御]→[入]（お買い上げ時の設定）→ OK → ✕

"ブラビア プレミアムフォト"について

本機は"ブラビア プレミアムフォト"に対応しています。"ブラビア プレミアムフォト"とは、写真らしい高精細で微妙な質感や色あいの表現を可能にする機能です。"ブラビア プレミアムフォト"に対応したソニー製テレビと本機を、HDMIケーブル*またはD端子A/Vケーブル**で接続すると、今までになかった感動のFull HD高画質で写真をお楽しみいただけます。

* 静止画表示時にテレビの設定が自動的に切り替わります。

** テレビ側の設定が必要です。
詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

パソコンの準備をする（Windows）

「PMB（Picture Motion Browser）」を使うと次の操作を楽しむことができます。
－ パソコンへの画像取り込み
－ 取り込んだ画像の閲覧、編集
－ ディスクの作成
－ 動画・静止画をWebにアップロード
パソコンで動画・静止画を保存するには、あらかじめ付属のCD-ROMから「PMB」をインストールします。

- パソコンから本機の内蔵メモリーをフォーマットしないでください。正常に動作しなくなります。
- DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、「PMB」を使用して作成したハイビジョン画質（HD）のディスクを入れないでください。ディスクを取り出せなくなることがあります。

準備1 パソコン環境を確かめる

OS *[1]
Microsoft Windows XP SP3 *[2]/Windows Vista SP1
CPU
Intel Pentium 4 2.8GHz以上（Intel Pentium 4 3.6GHz以上、Intel Pentium D 2.8GHz以上、Intel Core Duo 1.66GHz以上、Intel Core 2 Duo 1.66GHz以上を推奨します。） ただし、以下の場合については、Pentium III 1GHz以上での動作が可能です。 － 動画・静止画のパソコンへの取り込み － ワンタッチディスク － ブルーレイディスク作成・AVCHD対応ディスク・DVDビデオ作成（ただし、ハイビジョン画質（HD）から標準画質（SD）に変換してDVDビデオ作成する場合は、Pentium 4 2.8GHz以上が必要になります。） － ディスクのコピー － 標準画質（SD）の動画のみ扱う場合
ソフトウェア
DirectX 9.0c以降 (DirectXテクノロジに対応しておりますので、ご使用になるにはDirectXがインストールされている必要があります。）
メモリー
Windows XP：512MB以上（1GB以上を推奨） ただし、標準画質（SD）の動画のみを扱う場合は、256MB以上で可能です。 Windows Vista：1GB以上
ハードディスク
インストールに必要なディスク容量： 約500MB（AVCHD対応ディスク作成時には、10GB以上必要になる場合があります。ブルーレイディスク作成時には、最大でおよそ50GB必要になる場合があります。）
ディスプレイ
解像度1,024×768ドット以上
その他
USB端子標準装備（Hi-Speed USB（USB 2.0準拠））、ブルーレイディスク/DVD作成が可能なディスクドライブ（インストールにはCD-ROMドライブが必要） ハードディスクのファイルシステムは、NTFSまたはexFATを推奨します。

- すべてのパソコン環境についての動作を保証するものではありません。

*[1] 工場出荷時にインストールされていることが必要です。アップグレードした場合やマルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。
*[2] 64bit版は除きます。

Macintoshをお使いのときは

付属のソフトウェア「PMB」はMacintoshに対応していません。本機とMacintoshを接続して静止画を扱う方法については、下記のホームページをご覧ください。
http://guide.d-imaging.sony.co.jp/mac/ms/jp/

準備2 付属ソフトウェア「PMB」をインストールする

本機をパソコンにつなぐ前に、「PMB」をインストールします。

- お使いのパソコンに、すでに「PMB」がインストールされている場合は、インストール済みの「PMB」のバージョンを調べてください（「PMB」のメニューで、[ヘルプ]→[バージョン情報]の順にクリックすると表示されます）。付属のCD-ROMに記載されている「PMB」のバージョンと比較して、バージョンの高い方を後からインストールしてください。お使いのパソコンにインストールされている「PMB」のバージョンの方が高い場合は、一度アンインストールした後、バージョンの低い方から順にインストールしてください。バージョンの高い方からインストールした場合、「PMB」の一部の機能が正常に動作しない場合があります。
- 「"ハンディカム" ハンドブック」については49ページをご覧ください

1 パソコンに本機をつないでいないことを確認する。

2 パソコンの電源を入れる。

- Administrator権限・コンピュータの管理者でログオンしてください。
- 使用中のアプリケーションは、インストールの前に終了させておいてください。

3 パソコンのディスクドライブにCD-ROM（付属）をセットする。

インストール画面が表示されます。

- インストール画面が表示されないときは、[スタート]→[コンピュータ]（Windows XPの場合は[マイ コンピュータ]）をクリックし、[SONYPICTUTIL(E:)]（CD-ROM）*をダブルクリックする。

* ドライブ文字（(E:)など）は、使うパソコンによって異なることがあります。

4 [インストール]をクリックする。

5 [日本語]を選び、[次へ]をクリックする。

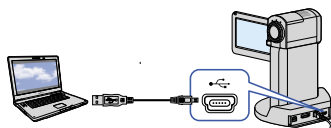
6 ACアダプターを"ハンディカム"ステーションとコンセントにつなぐ。

- "ハンディカム"ステーションを使わないときは、本機にACアダプターと専用USB端子アダプターを接続し（9、59ページ）、手順8に進んでください。

7 本機を"ハンディカム"ステーションに取り付ける。

8 本機の液晶画面を開いて電源を入れる。

パソコンを使って保存する

9 USBケーブル(付属)で"ハンディカム"ステーションまたは専用USBアダプターの⭠(USB)端子とパソコンをつなぐ。

本機に[USB機能選択]画面が表示されます。

10 本機の画面で[USB接続]をタッチする。

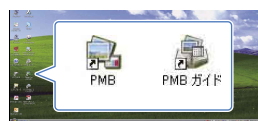
- [USB機能選択]画面が表示されないときは、MENU (メニュー)→ 9 [その他の機能]の[USB接続]をタッチする。

11 パソコンで[続行]をクリックする。

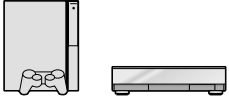
12 使用許諾契約の内容をよく読み、同意される場合は ○ を ◉ に変え、[次へ]→[インストール]をクリックする。

13 パソコンの画面の指示に従ってインストールする。

- ソフトウェアのインストール画面が表示される場合があります。画面の指示に従ってインストールしてください。
- パソコンの再起動を求める画面が表示された場合は、画面の指示に従って再起動してください。

インストールが完了したら、デスクトップにアイコンが表示されます。パソコンからCD-ROMを取り出してください。

- 上記以外のアイコンが表示されることがあります。
- インストール方法によって、アイコンが表示されないことがあります。
- 「"ハンディカム" ハンドブック」は、上記手順ではインストールされません(49ページ)。

本機とパソコンの接続を終了するには

1 パソコンのデスクトップ右下で、 アイコン →[USB大容量記憶装置を安全に取り外します]をクリックする。

2 本機の画面で[終了]→[はい]をタッチする。

3 USBケーブルを取りはずす。

- 書き込み可能なブルーレイディスクドライブをお持ちの場合は、ブルーレイディスクを作成できます。BD アドオン ソフトウェアのインストール方法は32ページをご覧ください。

ディスクの作りかたを選ぶ(パソコン)

ハイビジョン画質(HD)で撮影した動画や、静止画からディスクを作成する方法を説明します。再生機器に合わせて作りかたを選びましょう。

再生機器	作りかたとディスクの種類	
ブルーレイディスク再生機器 (ブルーレイディスクプレーヤー、プレイステーション 3など)	**①パソコンに保存する(かんたんPCバックアップ)(29ページ)。** ↓ **②ハイビジョン画質(HD)のブルーレイディスク*を作るには(32ページ)。**	Blu-ray
AVCHD規格対応再生機器 (ソニー製ブルーレイディスクプレーヤー、プレイステーション 3など)	**ワンタッチでディスクを作る(ワンタッチディスク)(28ページ)。**	HD
	①パソコンに保存する(かんたんPCバックアップ)(29ページ)。 ↓ **②ハイビジョン画質(HD)のディスクを作る(31ページ)。**	HD
一般的なDVD再生機器 (DVDプレーヤー、DVD再生可能なパソコンなど)	**①パソコンに保存する(かんたんPCバックアップ)(29ページ)。** ↓ **②標準画質(SD)のディスクを作る(33ページ)。**	SD

* ブルーレイディスクを作成するには、BD アドオン ソフトウェアをインストールする必要があります(32ページ)。

ディスクの説明

ブルーレイディスクには、ハイビジョン画質(HD)の動画をDVDディスクに比べ長時間記録できます。ブルーレイディスク再生機器で再生できます。

ハイビジョン画質(HD)の動画をDVD-RなどのDVDディスクに記録して、ディスクを作成します。

ハイビジョン画質(HD)の動画を標準画質(SD)に変換し、DVD-RなどのDVDディスクに記録して、ディスクを作成します。

「PMB」で使えるディスクの種類

「PMB」では以下の12cmのディスクを使えます。ブルーレイディスクについては、32ページをご覧ください。

ディスクの種類	特徴
DVD-R / DVD+R / DVD+R DL	書き換えできません。
DVD-RW / DVD+RW	書き換えて再利用できます。

- 「プレイステーション 3」のシステムソフトウェアは常に最新版にアップデートしてお使いください。アップデートの詳細は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントのウェブサイトをご覧ください。
  http://www.jp.playstation.com/ps3/update/

ワンタッチでディスクを作る
（ワンタッチディスク）

動画・静止画をディスクに保存できます。本機で撮影した動画・静止画のうち、まだ[ワンタッチディスク]機能を使ってディスクに保存していない動画・静止画を自動的に選んで保存します。画質は撮影したときの画質で保存されます。

- ハイビジョン画質（HD）（お買い上げ時の設定）で撮影した動画の場合は、ハイビジョン画質（HD）のディスクが作成されます。ハイビジョン画質（HD）のディスクは、DVDプレーヤーでは再生できません。
- ワンタッチディスクで、ブルーレイディスク作成はできません。
- ハイビジョン画質（HD）の動画から標準画質（SD）のディスクを作成する場合は、いったん動画をパソコンに保存して（29ページ）から、標準画質（SD）のディスクを作成（33ページ）してください。
- あらかじめ「PMB」をインストールしてください（23ページ）。ただし、「PMB」は起動しないでください。
- 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントから取ってください（10ページ）。
- ワンタッチディスク機能では、内蔵メモリーに記録された動画・静止画のみ保存できます。

1 パソコンの電源を入れ、DVDドライブに空のディスクを入れる。

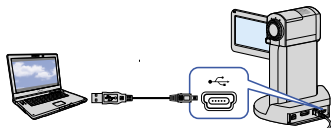
- 使用できるディスクの種類は26ページをご覧ください。
- 「PMB」以外のソフトウェアが自動で起動した場合は終了してください。

2 ACアダプターを“ハンディカム”ステーションとコンセントにつなぐ。

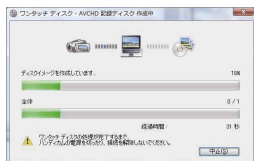
- “ハンディカム”ステーションを使わないときは、本機にACアダプターと専用USB端子アダプターを接続し（9、59ページ）、手順4に進んでください。

3 本機を“ハンディカム”ステーションに取り付ける。

4 本機の液晶画面を開いて電源を入れる。

5 USBケーブル（付属）で“ハンディカム”ステーションまたは専用USBアダプターのψ（USB）端子とパソコンをつなぐ。

- USB接続時に液晶画面を閉じると、記録した映像が失われる場合があります。

6 MENU（メニュー）→ 9 [その他の機能]の[USB接続] →[ワンタッチディスク]をタッチする。

7 パソコンの画面の指示に従って操作する。

- ワンタッチディスクでは、パソコンに動画・静止画は保存されません。

パソコンに保存する（かんたんPCバックアップ）

本機で撮影した動画・静止画のうち、まだ[かんたんPCバックアップ]機能を使ってパソコンに保存していない動画・静止画を自動的に選んでパソコンに取り込みます。パソコンの電源は入れておきます。

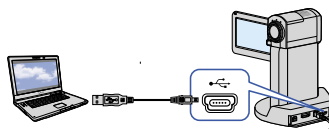
- 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントから取ってください（10ページ）。

1 ACアダプターを"ハンディカム"ステーションとコンセントにつなぐ。

- "ハンディカム"ステーションを使わないときは、本機にACアダプターと専用USB端子アダプターを接続し（9、59ページ）、手順3に進んでください。

2 本機を"ハンディカム"ステーションに取り付ける。

3 本機の液晶画面を開いて電源を入れる。

4 USBケーブル（付属）で"ハンディカム"ステーションまたは専用USBアダプターのψ（USB）端子とパソコンをつなぐ。

本機の液晶画面に[USB機能選択]画面が表示されます。

- USB接続時に液晶画面を閉じると、記録した映像が失われる場合があります。

5 内蔵メモリーの画像を取り込むときは[USB接続]を、“メモリースティック PRO デュオ”の画像を取り込むときは[USB接続]をタッチする。

パソコンの画面に[ハンディカム ユーティリティ]が起動します。

6 パソコンの画面で[かんたんPCバックアップ]→[取り込み開始]をクリックする。

取り込みが始まります。
取り込みが完了すると、「PMB」画面が表示されます。

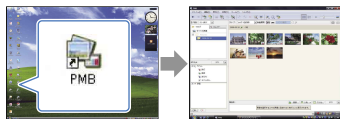
- 取り込みが完了すると、動画解析画面が表示されることがあります。動画解析は時間がかかることがあります。動画解析中も、「PMB」の操作ができます。

- 取り込んだハイビジョン画質(HD)の動画から、ハイビジョン画質(HD)のブルーレイディスク(32ページ)、ハイビジョン画質(HD)のAVCHD対応ディスク(31ページ)、標準画質(SD)のディスク(33ページ)を作れます。
- [選択画像取り込み]については、「PMBガイド」をご覧ください(31ページ)。
- パソコンに取り込んだハイビジョン画質(HD)の動画は、パソコンから本機に書き戻せます。「PMB」で[活用]→[メディアへ書き出す]→[ハンディカム(内蔵メモリー)]、または[ハンディカム(メモリースティック)]をクリックします。詳しくは、「PMBガイド」をご覧ください(31ページ)。

動画・静止画の保存先を変えるには

左記手順6のハンディカム ユーティリティ画面で、[かんたんPCバックアップ]→[変更]をクリックして表示される画面で変更します。

「PMB（Picture Motion Browser）」を起動する

デスクトップの「PMB」のショートカットをダブルクリックします。

- デスクトップにショートカットが表示されていないときは、[スタート]→[すべてのプログラム]→[Sony Picture Utility]→[PMB]の順にクリックして起動してください。

「PMB」を使って、動画・静止画の閲覧、編集、ディスク作成などができます。

「PMBガイド」を見る

「PMB」の使いかたを調べるには、「PMBガイド」をご覧ください。デスクトップの「PMBガイド」のショートカットをダブルクリックすると開きます。

- デスクトップにショートカットが表示されていないときは、[スタート]→[すべてのプログラム]→[Sony Picture Utility]→[ヘルプ]→[PMBガイド]の順にクリックしてください。「PMB」のヘルプメニューからも開けます。

ハイビジョン画質（HD）のディスクを作る

パソコンに取り込んだ（29ページ）ハイビジョン画質（HD）の動画を選んで、ハイビジョン画質（HD）のディスクを作ります。

- ここではDVDディスク（27ページ）にハイビジョン画質（HD）の動画を記録します。
- ハイビジョン画質（HD）のディスクは、ソニー製ブルーレイディスクプレーヤー、プレイステーション 3など、AVCHD規格対応再生機器で再生できます。一般的なDVDプレーヤーでは再生できません（26ページ）。

1 パソコンの電源を入れ、DVDドライブに空のディスクを入れる。

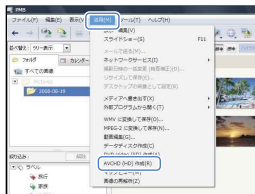
- 使用できるディスクの種類は27ページをご覧ください。
- 「PMB」以外のソフトウェアが自動で起動した場合は終了してください。

2 デスクトップの「PMB」のショートカットをダブルクリックして、「PMB」を起動する。

- [スタート]→[すべてのプログラム]→[Sony Picture Utility]→[PMB]の順にクリックしても起動できます。

3 画面左の[フォルダ]または[カレンダー]をクリックしてフォルダや日付を選び、書き込むハイビジョン画質（HD）の動画を選ぶ。

- ハイビジョン画質（HD）の動画にはアイコンが付いています。
- 静止画はディスクに保存できません。
- Ctrlキーを押しながらサムネイルをクリックすると複数の動画を選べます。

4 画面上部の[活用]→[AVCHD作成]をクリックする。

動画の選択画面が表示されます。

- 動画を追加したいときは、メイン画面で追加する動画を選び、動画の選択画面にドラッグアンドドロップします。

5 画面の指示に従ってディスクを作成する。

- ディスクの作成には時間がかかることがあります。

ハイビジョン画質(HD)のディスクをパソコンで再生するには

「PMB」と同時にインストールされる「Player for AVCHD」を使って再生できます。
起動するには、[スタート]→[すべてのプログラム]→[Sony Picture Utility]→[Player for AVCHD]の順にクリックします。操作方法は「Player for AVCHD」のヘルプをご覧ください。

- パソコンの環境によっては、動画がなめらかに再生できないことがあります。

ブルーレイディスクを作るには

パソコンに取り込んだ(29ページ)ハイビジョン画質(HD)の動画から、ブルーレイディスクを作成できます。
作成するにはBD アドオンソフトウェアをインストールする必要があります。
「PMB」のインストール画面で[BDアドオンソフトウェア]をクリックし、画面の指示に従って、インストールしてください。

- インストールには、お使いのパソコンをインターネットに接続する必要があります。

「ハイビジョン画質(HD)のディスクを作る」(31ページ)の手順1で、ディスクドライブに空のブルーレイディスクを入れ、手順4で[活用]→[Blu-ray Disc (HD)作成]をクリックします。他の操作手順は同じです。

- お使いのパソコンが、ブルーレイディスク作成に対応している必要があります。
- ディスクは、BD-R(書き換え不可)、BD-RE(書き換え可)が使えます。追加記録はできません。

一般的なDVDプレーヤーで再生可能な標準画質(SD)のディスクを作る

パソコンに取り込んだ(29ページ)動画・静止画を選んで、標準画質(SD)のディスクを作ります。

- 素材としてハイビジョン画質(HD)の動画を選べますが、その場合は、標準画質(SD)に変換するために記録時間以上の時間がかかります。

1 パソコンの電源を入れ、DVDドライブに空のディスクを入れる。

- 使用できるディスクの種類は27ページをご覧ください。
- ソフトウェアが自動で起動した場合は終了してください。

2 デスクトップの「PMB」のショートカットをダブルクリックして、「PMB」を起動する。

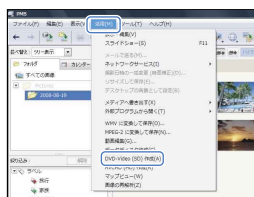
- [スタート]→[すべてのプログラム]→[Sony Picture Utility]→[PMB]の順にクリックしても起動できます。

3 画面左の[フォルダ]または[カレンダー]をクリックしてフォルダや日付を選び、書き込む動画・静止画を選ぶ。

- ハイビジョン画質(HD)の動画にはHDアイコンが付いています。
- Ctrlキーを押しながらサムネイルをクリックすると複数の動画・静止画を選べます。

4 画面上部の[活用]→[DVD-Video(SD)作成]をクリックする。

動画・静止画の選択画面が表示されます。

- 動画・静止画を追加したいときは、メイン画面で追加する動画・静止画を選び、動画・静止画の選択画面にドラッグアンドドロップします。

5 画面の指示に従ってディスクを作成する。

- ディスクの作成には時間がかかることがあります。

ディスクをコピーするには

「Video Disc Copier」を使って、記録済みのディスクをコピーできます。
ハイビジョン画質(HD)のディスクを、標準画質(SD)に変換してコピーすることもできます。
[スタート]→[すべてのプログラム]→[Sony Picture Utility]→[Video Disc Copier]の順にクリックして起動します。
操作方法は「Video Disc Copier」のヘルプをご覧ください。

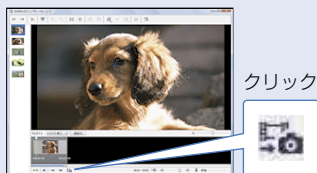
- ブルーレイディスクはコピーできません。

動画を編集するには

動画から必要な部分を切り出して、別ファイルとして保存できます。
「PMB」で編集したい動画を選び、メニューで[活用]→[動画編集]をクリックすると動画編集画面が表示されます。
操作方法は「PMBガイド」をご覧ください(31ページ)。

動画から静止画を作るには

動画から静止画を切り出して、別ファイルとして保存できます。
動画再生画面で、をクリックすると、[静止画で保存]画面が表示されます。
操作方法は「PMBガイド」をご覧ください(31ページ)。

クリック

ディスクの作りかたを選ぶ（DVDライター /レコーダー）

ハイビジョン画質（HD）で撮影した動画や、静止画からディスクを作成する方法を説明します。再生機器に合わせて作りかたを選びましょう。

- ディスクの作成には、DVD-RなどのDVDディスクをご用意ください。
- ブルーレイディスク作成については32ページをご覧ください。

再生機器	作りかたとディスクの種類
AVCHD規格対応再生機器 （ソニー製ブルーレイディスクプレーヤー、プレイステーション 3など）	**DVDライターなどでハイビジョン画質（HD）のディスクを作る（USBケーブル接続）（36ページ）。** HD
一般的なDVD再生機器 （DVDプレーヤー、DVD再生可能なパソコンなど）	**レコーダーなどで標準画質（SD）のディスクを作る（A/V接続ケーブル接続）（37ページ）。** SD

- 「プレイステーション 3」のシステムソフトウェアは常に最新版にアップデートしてお使いください。アップデートの詳細は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントのウェブサイトをご覧ください。
  http://www.jp.playstation.com/ps3/update/

DVDライターなどでハイビジョン画質（HD）の ディスクを作る
（USBケーブル接続）

ハイビジョン画質（HD）対応のソニー製DVDライターや、ソニー製ブルーレイディスクレコーダーなどのディスク作成機器と本機を、USBケーブルで接続します。つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
ここでは、ソニー製DVDライターと本機を接続してディスクを作る操作を説明します。

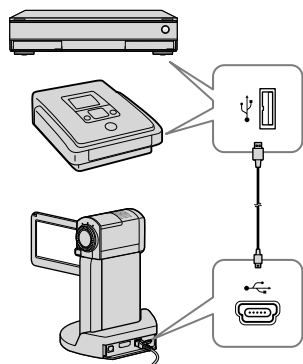
- 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントから取ってください（10ページ）。

1 ACアダプターを"ハンディカム"ステーションとコンセントにつなぐ。

- "ハンディカム"ステーションを使わないときは、本機にACアダプターと専用USB端子アダプターを接続し（9、59ページ）、手順3に進んでください。

2 本機を"ハンディカム"ステーションに取り付ける。

3 本機の液晶画面を開いて電源を入れる。

4 USBケーブル（付属）で"ハンディカム"ステーションまたは専用USBアダプターの⇆（USB）端子とDVDライターなどをつなぐ。

［USB機能選択］画面が表示されます。

5 本機の画面で、動画が内蔵メモリーに保存されているときは［ USB接続］を、"メモリースティック PRO デュオ"のときは［ USB接続］をタッチする。

6 接続先機器で録画操作を行う。

- 詳しくは、接続先機器の取扱説明書をご覧ください。

7 ディスク作成が終わったら、本機の画面で［終了］→［はい］をタッチする。

8 USBケーブルを取りはずす。

- DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、作成したハイビジョン画質（HD）のディスクを入れないでください。ディスクの取り出しができなくなることがあります。

レコーダーなどで標準画質(SD)のディスクを作る
(A/V接続ケーブル接続)

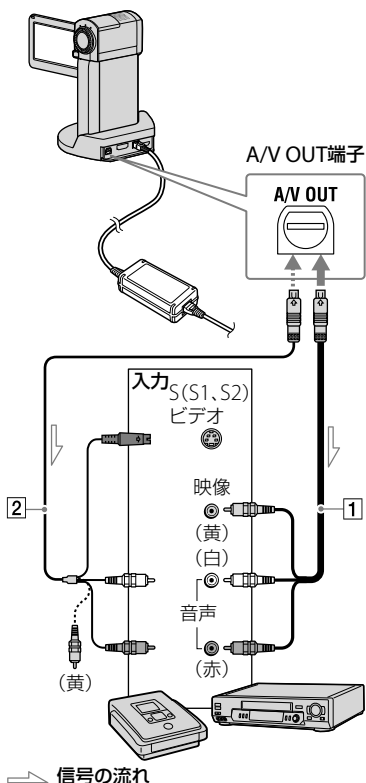
本機をディスクレコーダーや、ソニー製DVDライターなどにA/V接続ケーブルで接続すると、本機の画像をディスクやビデオカセットへダビングできます。次図の1か2どちらかの方法で接続してください。つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。あらかじめ、ダビングする画像を保存した記録メディアと画質を選んでください(40、45ページ)。

- 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントから取ってください(10ページ)。
- ハイビジョン画質(HD)で記録された画像は、標準画質(SD)でダビングされます。

1 A/V接続ケーブル(付属)

他機の入力端子につなぎます。
A/Vリモート端子は本機に、A/V OUT端子は"ハンディカム"ステーションにそれぞれ装備されています(58、59ページ)。
A/V接続ケーブルは、"ハンディカム"ステーション、または本機のどちらか一方に接続してください。

2 S映像ケーブル付きのA/V接続ケーブル(別売)

S(S1、S2)映像端子のある機器につなぐときは、このケーブルで接続すると、付属のA/V接続ケーブルに比べ、画像をより忠実に再現できます。白と赤のプラグ(左右音声端子)とS映像プラグ(S映像端子)のみ接続し、黄色いプラグ(映像端子)は接続不要です。S映像プラグのみつないだ場合、音声は出力されません。

信号の流れ

1 録画側のディスクレコーダーなどに記録用ディスクなどをセットする。

- 入力切り換えスイッチがある場合は、「入力」にしてください。

DVDライター、レコーダーを使ってディスクを作る

2 本機と録画側のディスクレコーダーなどを、A/V接続ケーブル[1](付属)またはS映像端子付きA/V接続ケーブル[2](別売)でつなぐ。

- 接続先機器の入力端子につないでください。

3 本機で再生を始め、接続先機器で録画を始める。

- 詳しくは、接続先機器の取扱説明書をご覧ください。

4 ダビングが終わったら、接続先機器の録画を停止し、本機の再生を停止する。

- アナログデータを経由してダビングするため、画質が劣化する場合があります。
- HDMIケーブルを使ってダビングすることはできません。
- 接続した機器の画面にカウンターなどを出さない場合は、MENU(メニュー)→ [12][出力設定]の[画面表示出力]→[パネル](お買い上げ時の設定)→ OK → ✕ をタッチしてください。
- 日時やカメラデータ、経度緯度データをダビングしたいときは、MENU(メニュー)→ [8][再生設定]の[日時/データ表示]→好みの設定→ OK → ✕ をタッチしてください。また、MENU(メニュー)→ [12][出力設定]の[画面表示出力]→[ビデオ出力/パネル]→ OK → ✕ をタッチしてください。
- テレビなどの表示機器の画面サイズが4:3の場合は、MENU(メニュー)→ [12][出力設定]の[TVタイプ]→[4:3]→ OK → ✕ をタッチしてください。
- 他機がモノラル(ひとつの音声入力・出力)の場合は、A/V接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ(左音声)または赤いプラグ(右音声)を音声入力へつなぎます。

動画・静止画を削除する

不要な動画・静止画を削除すると、削除した分の記録メディアの容量を元に戻せます。あらかじめ、削除したい動画・静止画が保存されている記録メディアを設定してください(40ページ)。

1 MENU（メニュー）をタッチする。

2 動画を削除するときは、7[編集]の[削除]→[HD 削除]/[SD 削除]をタッチする。

- 静止画を削除するときは、7[編集]の[削除]→[削除]をタッチする。

3 削除したい動画・静止画をタッチして、✓を付ける。

4 OK →[はい]→ OK → ✕ をタッチする。

- 動画をすべて削除するには以下の順にタッチします。
  手順2で[削除]→[HD 全削除]/[SD 全削除]→[はい]→[はい]→ OK → ✕
- 静止画をすべて削除するには以下の順にタッチします。
  手順2で[削除]→[全削除]→[はい]→[はい]→ OK → ✕

記録メディアを初期化する

初期化とは記録した動画・静止画をすべて削除して、記録メディアの容量を元に戻すことです。

- 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントから取ってください(10ページ)。
- 大切な画像は保存してから(22ページ)、初期化してください。
- プロテクトされた動画・静止画も削除されます。

1 MENU（メニュー）→ 10[メディア管理]の[メディア初期化]をタッチする。

2 初期化する記録メディア（[内蔵メモリー]または[メモリースティック]）をタッチする。

3 [はい]→[はい]→ OK をタッチする。

- [実行中]が表示されているときは、液晶画面の開閉やボタンを操作したり、"メモリースティック PRO デュオ"を取り出したり、ACアダプターをはずしたりしないでください。(初期化中はアクセスランプが点灯・点滅します。)

記録メディアを変える

本機は、記録、再生、編集する記録メディアを、動画・静止画ごとに内蔵メモリーまたは"メモリースティック PRO デュオ"に設定できます。お買い上げ時の設定では、動画・静止画ともに内蔵メモリーに記録されます。

- 設定した記録メディアに保存されている画像が記録、再生、編集されます。
- 動画の撮影可能時間は55ページをご覧ください。

動画の記録メディアを変える

1 MENU（メニュー）→ ⑩［メディア管理］の［動画メディア設定］をタッチする。

［動画メディア設定］画面が表示されます。

2 希望の記録メディアをタッチする。

3 ［はい］→ OK をタッチする。

記録メディアが切り替わります。

静止画の記録メディアを変える

1 MENU（メニュー）→ ⑩［メディア管理］の［静止画メディア設定］をタッチする。

［静止画メディア設定］画面が表示されます。

2 希望の記録メディアをタッチする。

3 ［はい］→ OK をタッチする。

記録メディアが切り替わります。

記録メディアの設定を確かめるには

動画の記録メディアを確かめるには、（動画）ランプを点灯させます。静止画は、（静止画）ランプを点灯させます。画面右上に、設定されている記録メディアが表示されます。

：内蔵メモリー

："メモリースティック PRO デュオ"

"メモリースティック PRO デュオ"を入れる

- "メモリースティック PRO デュオ"に動画や静止画を記録する場合は、記録メディアを［メモリースティック］に設定してください（40ページ）。

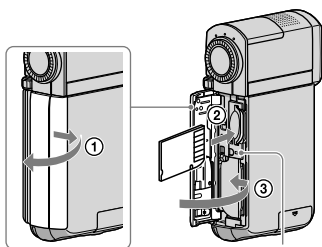
本機で使える“メモリースティック PRO デュオ”

- 動画撮影時は、1GB以上の次のマークが付いた“メモリースティック PRO デュオ”の使用をおすすめします。
  - MEMORY STICK PRO DUO（“メモリースティック PRO デュオ”）*
  - MEMORY STICK PRO-HG DUO（“メモリースティック PRO-HG デュオ”）

  * Mark2表示があるものとないもの両方を使えます。
- 本機で動作確認している“メモリースティック PRO デュオ”は16GBまでです。

---

1 “メモリースティック PRO デュオ”を入れる。

① バッテリー/メモリースティック デュオカバーを開く。
② “メモリースティック PRO デュオ”を「カチッ」というまで押し込む。
③ バッテリー/メモリースティック デュオカバーを閉じる。

アクセスランプ

（動画）ランプの点灯中に、新しい“メモリースティック PRO デュオ”を入れたときは、[管理ファイル新規作成]画面が表示されます。

- 誤った向きで無理に入れると、“メモリースティック PRO デュオ”や“メモリースティック デュオ”スロット、画像データが破損することがあります。

---

2 [はい]をタッチする。

- “メモリースティック PRO デュオ”に静止画のみを記録する場合は、[いいえ]をタッチする。

- 手順2で[管理ファイルを新規作成できませんでした　空き容量がたりない可能性があります]と表示されたときは、“メモリースティック PRO デュオ”を初期化してください（39ページ）。

“メモリースティック PRO デュオ”を取り出すには

バッテリー/メモリースティック デュオカバーを開き、“メモリースティック PRO デュオ”を軽く1回押して取り出します。

- 撮影中にバッテリー/メモリースティック デュオカバーを開けないでください。
- 出し入れ時には“メモリースティック PRO デュオ”の飛び出しにご注意ください。

内蔵メモリーの動画・静止画を“メモリースティック PRO デュオ”にダビング、コピーするには

MENU（メニュー）→ 7 [編集]の[動画ダビング]/[静止画コピー]をタッチして、画面の表示に従って操作してください。

メニューで設定を変える

- 「"ハンディカム" ハンドブック」では、メニューをカラー写真入りで説明しています(49ページ)。

メニューの使いかた

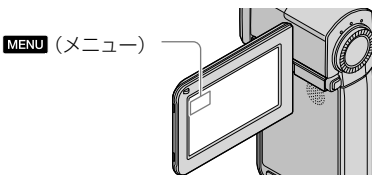
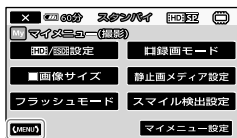
本機には、よく使う6項目のメニューのみが表示される「マイメニュー」と、全てのメニューが表示される「メニュー」があります。
お買い上げ時には、「マイメニュー」が表示されます。

1 本機の液晶画面を開く。

レンズカバーが開き、本機の電源が入ります。

2 MENU (メニュー)をタッチする。

マイメニューが表示されます。

×　60分　スタンバイ　HD SP
My マイメニュー(撮影)
HD/SD設定　録画モード
画像サイズ　静止画メディア設定
フラッシュモード　スマイル検出設定
MENU　マイメニュー設定

メニューへ

- 撮影モードと再生モードでは、表示されるマイメニューの項目が異なります。

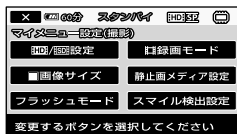
3 設定を変更したいメニュー項目をタッチする。

4 設定を変更して、OK をタッチする。

好みの項目をマイメニューに登録するには

1 「メニューの使いかた」の手順3で[マイメニュー設定]をタッチする。

2 [撮影]または[再生]をタッチする。

マイメニュー(撮影)の項目を変更するときは[撮影]を、マイメニュー(再生)を変更するときは[再生]を選びます。

3 変更するボタンをタッチする。

4 OK → 登録する項目をタッチする。

5 マイメニューが表示されたら、× をタッチする。

- 撮影モード、再生モードそれぞれのマイメニューに、最大6項目のメニューを登録できます。
- お買い上げ時のマイメニューの項目は、次の通りです。
  - 撮影モードのマイメニュー
    [HD/SD 設定]、[動画 録画モード]、[静止画 画像サイズ]、[静止画メディア設定]、[フラッシュモード]、[スマイル検出設定]
  - 再生モードのマイメニュー
    [動画 削除]、[静止画 削除]、[HD/SD 設定]、[ハイライト再生]、[パネル明るさ]、[動画ダビング]

全てのメニュー項目から設定する(メニュー)

1 本機の液晶画面を開く。

レンズカバーが開き、本機の電源が入ります。

2 MENU (メニュー)をタッチする。

マイメニューが表示されます。

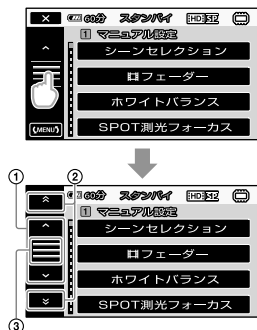
- 前回メニューを表示しているときは、メニューが表示されます。手順4に進んでください。

3 MENU をタッチする。

メニューが表示されます。

カテゴリー

マイメニューへ

4 設定を変更したいメニュー項目をタッチする。

①4項目ごとに移動
②カテゴリーごとに移動
③ ✕ と MENU を表示

- 本機の状態によっては、設定できないメニュー項目があります。
- 灰色で表示されるメニュー項目や設定は使えません。
- ①や②をタッチしたままずらすと、画面をスクロールできます。

5 設定を変更して、OK → ✕ をタッチする。

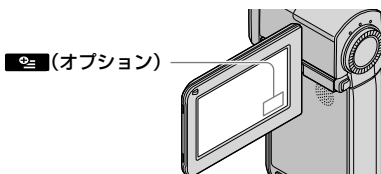
- 前の画面に戻るには、↩ をタッチします。

- 設定したメニュー項目の内容によって、本機の撮影/再生モードも切り換わります。

使いこなす

オプションメニューの使いかた

パソコンの右クリックのような役割がオプションメニューです。（オプション）ボタンを押すと、そのときに設定できるメニュー項目が表示されます。

1 （オプション）をタッチする。

2 タブ → 希望のメニュー項目の順にタッチして設定を変更する。

3 設定が終わったら、OK をタッチする。

- 灰色で表示されるメニュー項目や設定は使えません。
- 希望の項目が画面にないときは、他のタブをタッチしてください。（タブが表示されないこともあります。）
- 表示されるタブや項目は、撮影、再生時の本機の状態によって変わります。

メニュー一覧

1（マニュアル設定）カテゴリー

シーンセレクション……夜景や海岸など場面に合った設定を選択します。
フェーダー……フェードイン、アウト効果を加えます。
ホワイトバランス……色合いを調節します。
SPOT測光フォーカス……タッチした被写体に明るさとピントを合わせます。
スポット測光……タッチした被写体に合わせて動画・静止画の明るさを調節します。
スポットフォーカス……タッチした被写体にピントを合わせます。
カメラ明るさ……動画・静止画の明るさを調節します。
フォーカス……手動でピントを合わせます。
テレマクロ……背景をぼかして撮影します。
なめらかスロー録画……高速な被写体をスローモーションで記録します。

2（撮影設定）カテゴリー

デジタルズーム……14ページ
ガイドフレーム……水平/垂直の目安になる枠を表示します。
手ブレ補正……14ページ
内蔵ズームマイク……ズームに連動して音声を記録します。
マイク基準レベル……録音レベルを設定します。
自動逆光補正……逆光補正を自動で行います。
オートスロシャッタ……自動でシャッタースピードを調節します。
アクセサリーレンズ……取り付けたレンズに合わせて手ブレ補正とフォーカスが最適化されます。

3（記録設定）カテゴリー

HD/SD設定……動画を記録・再生・編集するときの画質を設定します。
録画モード……動画の録画モードを設定します。動きが速い被写体を撮るときは、[FH]など高画質設定にすることをおすすめします。
X.V.COLOR……14ページ
ワイド切替……標準画質（SD）で撮影する動画の横縦比を設定します。

4（顔機能設定）カテゴリー

顔枠表示設定……顔を検出したときの枠の表示/非表示を選択します。
顔検出……顔部分の画質を自動的に調節します。
スマイル検出設定……笑顔を逃さずに撮影します。
スマイル検出感度……笑顔を検出する感度を設定します。
スマイル優先被写体……優先して検出する笑顔を大人か子供か設定します。

5（静止画設定）カテゴリー

セルフタイマー……静止画撮影時にセルフタイマーを設定します。

使いこなす

■ 画像サイズ……静止画のサイズを設定します。
フラッシュモード……発光のしかたを設定します。
フラッシュレベル……フラッシュの明るさを設定します。
赤目軽減……フラッシュ撮影時に目が赤く光るのを抑えます。
ファイルナンバー……ファイル番号の付けかたを設定します。

6(再生)カテゴリー

V.インデックス……17ページ
日付インデックス……撮影日から効率よく画像を探すことができます。
地図……地図上に動画や静止画の撮影地で一覧表示します(地図インデックス)。
フィルムロール……一定間隔ごとの場面を一覧・再生します。
フェイス……顔が写っている場面を一覧・再生します。
ハイライト再生……動画のハイライトシーンに音楽をつけて再生します。
プレイリスト……動画のリスト(プレイリスト)を一覧・再生します。

7(編集)カテゴリー

削除
- HD 削除/SD 削除……39ページ
- HD 日付指定削除/SD 日付指定削除……39ページ
- HD 全削除/SD 全削除……39ページ

■ 削除
- ■ 削除……39ページ
- ■ 日付指定削除……39ページ
- ■ 全削除……39ページ

プロテクト
- HD プロテクト/SD プロテクト……動画を削除できないように設定します。
- HD 日付プロテクト/SD 日付プロテクト……動画を日付単位で削除できないように設定します。

■ プロテクト……
- ■ プロテクト……静止画を削除できないように設定します。
- ■ 日付プロテクト……静止画を日付単位で削除できないように設定します。

分割……動画を分割します。
動画から静止画作成……動画のお好みの場面から静止画を作ります。
動画ダビング
- 選択ダビング……41ページ
- 日付ダビング……41ページ
- HD 全ダビング/SD 全ダビング……41ページ

静止画コピー

選択コピー……41ページ
日付コピー……41ページ
プレイリスト編集
HD 追加/SD 追加……プレイリストに動画を追加します。
HD 日付指定追加/
SD 日付指定追加……プレイリストに動画を日付単位で追加します。
HD 消去/SD 消去……プレイリストから動画を消去します。
HD 全消去/SD 全消去……プレイリストから動画を一括消去します。
HD 移動/SD 移動……プレイリストの順番を変えます。

8（再生設定）カテゴリー

HD/SD 設定……動画を記録・再生・編集するときの画質を設定します。
日時/データ表示……再生時に画像の詳細情報を表示します。

9（その他の機能）カテゴリー

現在地表示……地図上に現在地を表示します。
USB接続
USB接続……内蔵メモリーをUSB接続します。
USB接続……メモリースティック PRO デュオ" をUSB接続します。
ワンタッチディスク……28ページ
テレビ接続ガイド……20ページ
BGMデータ消去……音楽ファイルを消去します。
BGMダウンロード……ハイライト再生時に再生できる音楽ファイルをダウンロードします。
バッテリーインフォ……バッテリー情報を表示します。

10（メディア管理）カテゴリー

動画メディア設定……40ページ
静止画メディア設定……40ページ
メディア情報……記録メディアの空き容量などを表示します。
メディア初期化
内蔵メモリー……39ページ
メモリースティック……39ページ
管理ファイル修復
内蔵メモリー……51ページ
メモリースティック……51ページ

11（音/画面設定）カテゴリー

音量……18ページ
操作音……12ページ
パネル明るさ……液晶画面の明るさを調節します。
パネルBLレベル……液晶画面のバックライトを調節します。
パネル色の濃さ……液晶画面の濃さを調節します。

画面表示設定......画面表示を設定します。

⑫(出力設定)カテゴリー

TVタイプ......21ページ
コンポーネント出力......21ページ
HDMI解像度
　ハイビジョン画質......テレビに出力する信号をハイビジョン画質にします。
　標準画質......テレビに出力する信号を標準画質にします。
画面表示出力......画面表示をテレビに出すかを設定します。

⑬(時計設定)カテゴリー

日時あわせ......11ページ
エリア設定......11ページ
自動時刻補正......GPSから時刻情報を取得して自動的に正確な時刻に補正するかを設定します。
自動エリア設定......GPSから現在地情報を取得して自動的に時差を補正するかを設定します。
サマータイム......11ページ

⑭(一般設定)カテゴリー

デモモード......デモンストレーションの設定をします。
キャリブレーション......タッチパネルの反応位置を調節します。
自動電源オフ......自動電源オフ(10ページ)の設定を変えます。
HDMI**機器制御**......21ページ

「"ハンディカム" ハンドブック」で調べる

「"ハンディカム" ハンドブック」は、パソコンで見る電子ガイドです。本機の機能をカラー写真入りで説明しています。一歩進んだ使いかたを知りたいときにご覧ください。

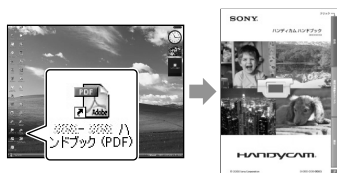
1 Windowsパソコンにインストールするには、付属のCD-ROMをパソコンに入れる。

2 表示されるインストール画面で[ハンディカム ハンドブック]をクリックする。

3 言語と、お使いの機種名を選び、[ハンディカムハンドブック(PDF)]をクリックする。

- お使いの機種名は、本機の底面に記載されています。

4 [終了]→[終了]をクリックして、パソコンからCD-ROMを取り出す。

「"ハンディカム" ハンドブック」を見るときは、デスクトップのショートカットをダブルクリックしてください。

- Macintoshをお使いのときは、CD-ROM内の[Handbook]－[JP]フォルダから[Handbook.pdf]をコピーしてください。
- 「"ハンディカム" ハンドブック」を見るにはAdobe Reader が必要です。アドビ社のホームページから無償でダウンロードできます。http://www.adobe.co.jp
- 付属のパソコンソフト「PMB」について詳しくは、「PMBガイド」をご覧ください(31ページ)。

使いこなす

? 故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、ソニーの相談窓口（裏表紙）にお問い合わせください。

修理に出される前のご注意

- 修理内容によっては内蔵メモリーの初期化または交換が必要になることがあります。その場合、内蔵メモリー内のデータはすべて消去されますので、修理をお受けになる前に内蔵メモリー内のデータを保存（バックアップ）してください。修理によってデータが消去された場合の補償については、ご容赦ください。
- 修理において、不具合症状の発生・改善の確認のために、必要最小限の範囲で内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。ただし、それらのデータをソニー側で複製・保存することはありません。
- 本機の症状について詳しくは「"ハンディカム"ハンドブック」（49ページ）、パソコンとの接続については「PMBガイド」（31ページ）をご覧ください。

電源が入らない。

- 充電されたバッテリーを取り付ける（8ページ）。
- ACアダプターをコンセントに差し込む（10ページ）。

電源が入っているのに操作できない。

- 電源を入れてから撮影が可能になるまで数秒かかりますが、故障ではありません。
- 電源（バッテリーまたはACアダプターの電源コード）を取りはずし、約1分後に電源を取り付け直す。それでも操作できないときは、RESET（リセット）ボタン（58ページ）を先のとがったもので押す（すべての設定が解除されます）。

本機が温かくなる。

- 本機を使用中に本機が温かくなることがありますが、故障ではありません。

電源が途中で切れる。

- ACアダプターを使用する（10ページ）。
- もう一度電源を入れる。
- バッテリーを充電する（8ページ）。

START/STOPボタンやPHOTOボタンを深く押しても撮影できない。

- 直前に撮影した画像を記録メディアに書き込んでいる。書き込んでいる間は、新たに撮影できません。
- 記録メディアの空き容量がない。不要な動画、静止画を削除する（39ページ）。
- 動画のシーン数や静止画の枚数が本機で撮影できる上限を超えている。不要な動画、静止画を削除する（39ページ）。

「PMB」がインストールできない。

- パソコンの環境、インストール手順を確認する（22ページ）。

「PMB」が正しく動作しない。

- 「PMB」を終了し、パソコンを再起動する。

本機がパソコンに認識されない

- キーボード、マウス、本機以外で、パソコンのUSB端子につながれている他の機器を取りはずす。
- パソコンと"ハンディカム"ステーションまたは専用USB端子アダプターからUSBケーブルを抜き、パソコンを再起動させてから、正しい手順でもう一度パソコンと"ハンディカム"ステーションまたは専用USB端子アダプターをつなぐ。

自己診断/警告表示

液晶画面に、次のように表示されます。2、3回対応を繰り返しても正常に戻らないときは、ソニーの相談窓口(裏表紙)にお問い合わせください。

C:04:□□

- “インフォリチウム”バッテリー NP-FH50以外のバッテリーが使われている。必ず“インフォリチウム”バッテリー NP-FH50を使う(8ページ)。
- ACアダプターのDCプラグを“ハンディカム”ステーションまたは本機のDC IN端子にしっかりつなぐ(8ページ)。

C:13:□□ / C:32:□□

- 電源をいったん取りはずし、取り付け直してからもう一度操作する。

C:06:□□

- バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

E:20:□□ / E:31:□□ / E:61:□□ / E:62:□□ / E:91:□□ / E:94:□□ / E:95:□□/E:96:□□

- 修理が必要です。ソニーの相談窓口(裏表紙)にご連絡いただき、Eから始まる数字すべてをお知らせください。

101-0001

- 遅い点滅のときは、ファイルが壊れている。または扱えないファイル。

- バッテリー残量が少ない。

- バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

- “メモリースティック PROデュオ”が入っていない(40ページ)。
- 点滅のときは、撮影に必要な空き容量がない、または少なくなっている。不要な動画、静止画を削除する(39ページ)。または動画、静止画を保存(バックアップ)してから“メモリースティック PRO デュオ”を初期化する(39ページ)。
- 管理ファイルが壊れている。MENU (メニュー)→ 10 [メディア管理]の[管理ファイル修復] → 記録メディアの順にタッチして、管理ファイルの状態をチェックする

- “メモリースティック PRO デュオ”に問題がある。本機で初期化する(39ページ)。

?

- 本機では使えない“メモリースティック デュオ”を入れた(41ページ)。

- “メモリースティック PRO デュオ”が書き込み不能になっている。

- フラッシュに異常がある。

その他

• 光量が不足し、手ブレが起こりやすい状況になっている。フラッシュを使う。
• 手ブレ状態になっている。カメラを固定する。ただし、手ブレマークは消えません。

• 記録メディアの空き容量がない。不要な動画、静止画を削除する（39ページ）。
• 処理中のため、一時的に静止画記録ができない。しばらく待ってから撮影する。

取り扱い上のご注意

使用や保管場所について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

• 異常に高温、低温または多湿になる場所
炎天下や熱器具の近くや、または夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
• 激しい振動や強力な磁気のある場所
故障の原因になります。
• 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
正しく撮影できないことがあります。
• TVやラジオ、チューナーの近く
雑音が入ることがあります。
• 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
• 液晶画面やレンズが太陽に向いたままとなる場所（窓際や室外など）
液晶画面を傷めます。

長時間使用しないときは

• 本機を良好な状態で長期にわたってお使いいただくために、月に1回程度、本機の電源を入れて撮影および再生を行ってください。
• バッテリーは使い切ってから保管してください。

液晶画面について

• 液晶画面を強く押すと画面にムラが出ることがあります。また、液晶画面の故障の原因になります。
• 寒い場所でお使いになると画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。
• 使用中に液晶画面のまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

液晶画面のお手入れ

• 液晶画面に指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。別売の液晶クリーニングキットを使うときは、クリーニングリキッドを直接液晶画面にかけず、必ずクリーニングペーパーに染み込ませて使ってください。

本機表面のお手入れ

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いた後、からぶきします。
- 本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下は避けてください。
  - シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類
  - 上記が手に付いたまま本機を扱う
  - ゴムやビニール製品との長時間接触

カメラレンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- カビの発生を防ぐために、定期的にお手入れして、風通しの良い、ゴミやほこりの少ない場所に保管してください。

内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使っている限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し、3か月近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。ただし、充電式電池が放電していても、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

充電方法

本機を付属のACアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、液晶画面を閉じて24時間以上放置します。

本機の廃棄・譲渡に関するご注意

動画と静止画の全削除（[HD 全削除]、[SD 全削除]、[■ 全削除]）や、[メディア初期化]を行っても、内蔵メモリー内のデータは完全には消去されないことがあります。本機を譲渡するときは[データ消去]（49ページの「"ハンディカム"ハンドブック」で調べる」をご覧ください）を行って、内蔵メモリー内のデータの復元を困難にすることをおすすめします。本機を廃棄するときは、本機を物理的に破壊することをおすすめします。

"メモリースティック PRO デュオ"を廃棄・譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、"メモリースティック PRO デュオ"内のデータは完全には消去されないことがあります。"メモリースティック PRO デュオ"を譲渡するときは、パソコンのデータ消去用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また"メモリースティック PRO デュオ"を廃棄するときは、"メモリースティック PRO デュオ"本体を物理的に破壊することをおすすめします。

主な仕様

システム

信号方式：NTSCカラー、EIA標準方式

ビデオ記録方式
映像：HD画質：MPEG-4 AVC/H.264
AVCHD規格準拠
SD画質：MPEG-2 PS
音声：Dolby Digital 2ch
ドルビーデジタルステレオクリエーター搭載

静止画ファイルフォーマット
：DCF Ver2.0準拠
：Exif Ver2.21準拠
：MPF Baseline準拠

記録メディア（動画・静止画）
内蔵メモリー　16GB
“メモリースティック PRO デュオ”

容量は、1 GBを10億バイトで計算した場合の数値です。
また管理用ファイル、アプリケーションファイルなどを含むため、実際に使用できる容量は減少します。これに使用される容量は約1.24GBです。

撮像素子：3.6 mm（1/5型）CMOSセンサー
記録画素数：静止画時 最大400万画素相当*
（2304×1728）（4：3時）
総画素数：約236万画素
動画時有効画素数（16：9）：約143万画素
静止画時有効画素数（16：9）：約149万画素
静止画時有効画素数（4：3）：約199万画素

ズームレンズ：カール ツァイス バリオテッサー
10倍（光学）、20倍、120倍（デジタル）
F1.8 ～ 2.3
f=3.2 ～ 32.0 mm
35mmカメラ換算では
動画撮影時**：
43 ～ 507 mm（16：9）
静止画撮影時：
38 ～ 380 mm（4：3）

色温度切り換え：[オート]、[ワンプッシュ]、[屋内]（3 200 K）、[屋外]（5 800 K）

最低被写体照度：5 lx（ルクス）（[オートスロシャッタ] [入]、シャッタースピード1/30秒）

* ソニー独自のクリアビッド画素配列と画像処理システムBIONZにより、静止画は表記の記録サイズを実現しています。
** 広角画素読み出しによる実動作値

入/出力端子

A/Vリモート端子：コンポーネント、映像音声出力兼用端子

液晶画面

画面サイズ：6.7 cm（2.7型、アスペクト比16：9）

総ドット数：211 200ドット
横960×縦220

電源部、その他

電源電圧：バッテリー端子入力 6.8 V/7.2 V
DC端子入力 8.4 V

消費電力：液晶画面の明るさ標準：
HD：3.1 W
SD：2.4 W

動作温度：0 ℃～ 40 ℃

保存温度：－20 ℃～ +60 ℃

外形寸法：30×117×62 mm
（突起部を含む）（幅×高さ×奥行き）
30×117×62 mm
（突起部を含む、付属バッテリー装着状態）
（幅×高さ×奥行き）

本体質量：
約230 g（本体のみ）

撮影時総質量：
約280 g（付属バッテリー含む。）

“ハンディカム”ステーション DCRA-C250

入/出力端子

A/V OUT端子：コンポーネント、映像音声出力兼用端子

HDMI OUT端子：HDMIコネクタ

USB端子：mini-B

専用USB端子アダプター

入/出力端子

USB端子：mini-B

ACアダプター　AC-L200C/AC-L200D

電源：AC 100 V - 240 V、50 Hz/60 Hz

消費電力：18 W

定格出力：DC 8.4 V*

動作温度：0 ℃～ 40 ℃

保存温度：－20 ℃～ +60 ℃

外形寸法：約 48×29×81 mm（最大突起部をのぞく）（幅×高さ×奥行き）

質量：約170 g（本体のみ）

* その他の仕様についてはACアダプターのラベルをご覧ください。

リチャージャブルバッテリーパック NP-FH50

最大電圧：DC 8.4 V

公称電圧：DC 6.8 V

容量：

公称容量：6.1Wh（900mAh）
定格（最小）容量：5.9Wh（870mAh）

使用電池：Li-ion

本機やアクセサリーの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

付属バッテリーでの充電・撮影・再生可能時間の目安

（単位：分）

画質	HD	SD
充電時間（満充電）	135	
連続撮影時	100	135
実撮影時	50	65
再生可能時間	155	180

- 撮影、再生可能時間は、満充電からのおよその時間です。
- ハイビジョン画質（HD）・標準画質（SD）
- 撮影条件：[動画]録画モード[SP]
- 記録メディアが内蔵メモリーまたは"メモリースティック PRO デュオ"のとき
- 実撮影時間とは、録画スタンバイ、動画・静止画モードの切り換え、ズームなどの操作を繰り返したときの時間です。

内蔵メモリーへの撮影可能時間の目安

- 録画モードの設定は、MENU（メニュー）→ 3 [記録設定]の[[動画]録画モード]をタッチします。お買い上げ時は[HD SP]です（45ページ）。

ハイビジョン画質（HD）

（単位：分）

録画モード	録画時間
[HD FH]	110（110）
[HD HQ]	220（155）
[HD SP]	275（195）
[HD LP]	370（285）

標準画質（SD）

（単位：分）

録画モード	録画時間
[SD HQ]	225（200）
[SD SP]	325（200）
[SD LP]	680（440）

- ( )内は最低録画時間

"メモリースティック PRO デュオ"への撮影可能時間の目安の例

（単位：分）

録画モード	容量4GBのときの録画時間	
	ハイビジョン画質（HD）	標準画質（SD）
[FH]	25（25）	--
[HQ]	55（40）	55（50）
[SP]	70（50）	80（50）
[LP]	95（70）	170（110）

- ( )内は最低録画時間
- ソニー製"メモリースティック PRO デュオ"使用時。
- 撮影可能時間は撮影環境や被写体の状態、[[動画]録画モード]、"メモリースティック"の種類によっても変わります。
- 充電・撮影・再生可能時間について
  - 25℃で使用したときの時間です。10 ～ 30℃でのご使用をおすすめします。
  - 低温時など、使用状態によって、撮影・再生可能時間は短くなります。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入と記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。

このデジタルビデオカメラレコーダーは国内仕様です。海外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスとその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口（裏表紙）にお問い合わせください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

修理に出される前に

修理に出される前のご注意（50ページ）をご覧ください。

部品の保有期間について

当社はデジタルビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

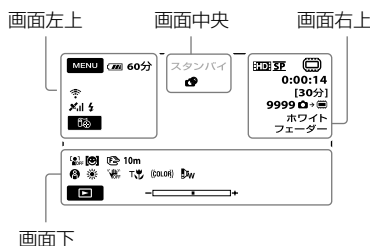
部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

商標について

- "ハンディカム"、HANDYCAM はソニー株式会社の登録商標です。
- AVCHDおよびAVCHDロゴは、ソニー株式会社とパナソニック株式会社の商標です。
- "Memory Stick"、"メモリースティック"、MEMORY STICK ™、"メモリースティック デュオ"、MEMORY STICK DUO、"メモリースティック PRO デュオ"、MEMORY STICK PRO DUO、"メモリースティック PRO-HG デュオ"、MEMORY STICK PRO-HG DUO、"マジックゲート"、MAGICGATE、"MagicGate Memory Stick"、"マジックゲート メモリースティック"、"MagicGate Memory Stick Duo"、"マジックゲート メモリースティック デュオ"はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- InfoLITHIUM（インフォリチウム）はソニー株式会社の商標です。
- "x.v.Color"はソニー株式会社の商標です。
- "BIONZ"はソニー株式会社の商標です。
- ブラビアはソニー株式会社の登録商標です。
- Blu-ray DiscおよびBlu-ray Discロゴは商標です。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Media、Windows Vista、DirectXはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OSはApple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、Intel Core、Pentiumは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- 「プレイステーション 3」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商品です。また「プレイステーション」は同社の登録商標または商標です。
- Adobe、Adobe logo、Adobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- NAVTEQおよびNAVTEQ Mapsロゴは、NAVTEQの米国およびその他の国における商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では、™、®マークは明記していません。

画面表示

画面左上

表示	意味
MENU	メニューボタン
	セルフタイマー
	GPS測位状況
	現在地表示ボタン
	フラッシュ /赤目軽減
	マイク基準レベル低
4:3	ワイド切換
	内蔵ズームマイク
60分	バッテリー残量の目安
	戻るボタン

画面中央

表示	意味
[スタンバイ]/ [●録画]	撮影状態
4.0M 3.0M 1.9M VGA	静止画サイズ
	スライドショー設定
	警告
	再生表示

画面右上

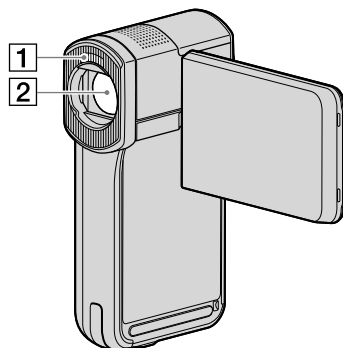
表示	意味
HD SP SD SP	記録画質(HD/SD)と録画モード(FH/HQ/SP/LP)
	記録/再生/編集メディア
0:00:00	カウンター(時:分:秒)
[00分]	記録残量時間の目安
ホワイト フェーダー ブラック フェーダー	フェーダー
9999 9999	およその静止画撮影可能枚数と記録メディア
101	再生フォルダ
100/112	再生中の動画・静止画の番号/記録している動画・静止画の数

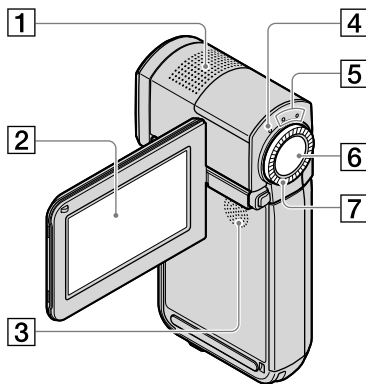
画面下

表示	意味
OFF	顔検出切
	スマイル検出
	手動フォーカス
	シーンセレクション
	ホワイトバランス
OFF	手ブレ補正切
	SPOT測光フォーカス/フレキシブルスポット測光/カメラ明るさ
T	テレマクロ
(COLOR)	X.V.COLOR
W	アクセサリーレンズ
	オプションボタン
	再生ボタン
	スライドショーボタン
101-0005	データファイル名
	プロテクト
	インデックス表示ボタン

- 表示内容や位置は目安であり、実際と異なることがあります。

各部の名前

（　）内は参照ページです。

1 フラッシュ発光部

2 レンズ（カールツァイスレンズ搭載）

1 内蔵マイク

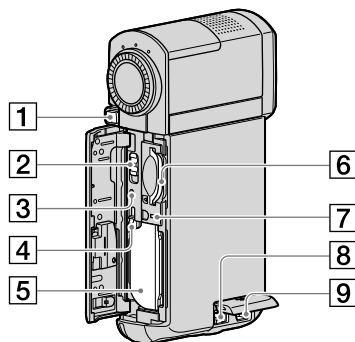
2 液晶画面/タッチパネル（11）
液晶画面を180°回転させたまま、外側に向けて本体に収められます。本機で画像を再生するときに便利です。

3 スピーカー

4 ϟ（フラッシュ）/CHG（充電）ランプ（8）

5 （動画）/（静止画）ランプ（11）

6 START/STOP（スタート/ストップ）ボタン（13）

7 ズームレバー（13、15、19）

1 PHOTO（フォト）ボタン（15）

2 GPSスイッチ

3 RESET（リセット）ボタン
日時を含めすべての設定が解除されます。

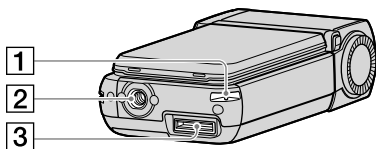
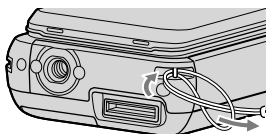
4 バッテリー取りはずしつまみ

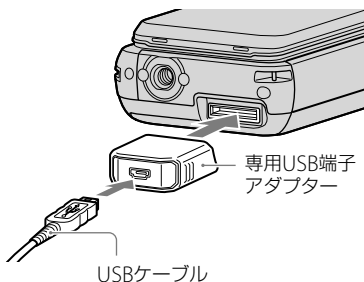
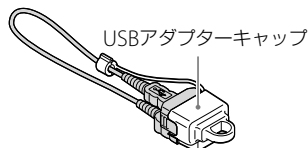
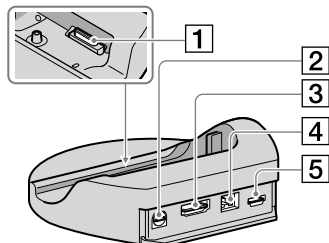
5 バッテリーパック

6 "メモリースティック デュオ" スロット（41）

7 アクセスランプ（内蔵メモリー、"メモリースティック PRO デュオ"）（41）
点灯、点滅中は、データの読み書きを行っています。

8 DC IN端子（8、9）

9 A/Vリモート端子（20）

1 リストストラップ取り付け部
リストストラップ(付属)を取り付けます。落下防止のため、リストストラップを取り付け、手をとおしてご使用ください。

2 三脚用ネジ穴
三脚(別売り、ネジの長さが5.5mm以下)を三脚用ネジ穴に取り付けます。

3 インターフェースコネクタ
本機と"ハンディカム"ステーション、または専用USB端子アダプターをつなぎます。専用USB端子アダプターを本機に取り付けると、"ハンディカム"ステーションを使わずに、本機にUSBケーブルをつなげられます。

- 専用USB端子アダプターは用途にあわせてUSBケーブルを付け換えてご使用ください。
- 引っかけたり、強い衝撃を加えないようにご注意ください。破損するおそれがあります。
- カバンなどに入れて持ち運ぶときはUSBケーブルにUSBアダプターキャップを取り付けてください。

"ハンディカム"ステーション

1 インターフェースコネクタ
本機を"ハンディカム"ステーションに取り付けるときに、本機のインターフェースコネクタとつなぎます。

2 A/V OUT端子(20、37)

3 HDMI OUT端子(20)

4 DC IN端子(8)

5 ψ(USB)端子(24、28、29、36)

その他

安全のために

→ 2ページもあわせてお読みください。

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、**火災、大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はソニーの相談窓口にご依頼ください。

内部に水や異物（金属類や燃えやすい物など）を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、液晶画面を見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。

機器本体や付属品、記録メディアは乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品や"メモリースティック"などを飲み込む恐れがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。

また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。

電源コードを傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。

フラッシュ、ビデオライトご使用上の注意

禁止

- 点灯したまま放置しない。
- 使用中に紙や布などの燃えやすいものを近づけない。
- ビデオライトの点灯中および消灯直後のランプに触らない。
- 指定以外のランプを使用しない。火災ややけどの原因になります。
- 可燃性/爆発性ガスのある場所でフラッシュまたは、ビデオライトを使用しない。

フラッシュ、ビデオライトなどの撮影補助光を至近距離で人に向けない

- 至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。
- 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。

⚠注意

下記の注意事項を守らないと、**けがや財産に損害**を与えることがあります。

水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

火災や感電の原因になることがあります。

ぬれた手で使用しない

感電の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

電源コードやパソコン接続ケーブル、A/V接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中のバッテリーや製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずしたり、電池を本体からはずして保管してください。火災の原因となることがあります。

フラッシュの発光部を手でさわらない

フラッシュ発光部を手で覆ったまま発光しないでください。発光後も発光部に手を触れないでください。やけどの原因となります。

レンズや液晶画面に衝撃を与えない

レンズや液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

電池や付属品、記録メディア、アクセサリーなどを取りはずすときは、手をそえる

電池や"メモリースティック"などが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。

⚠危険 電池についての安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがやけど、火災などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

⚠危険

- バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外で充電しない。
- 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。
- 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。
- 電池をコインやヘアーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体で濡らさない。濡れた電池を充電したり、使用したりしない。

禁止

- 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。
- バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。

禁止

- 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取りはずしておく。

指示

お願い

リチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部分にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については
有限責任中間法人JBRCホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html
を参照してください。

Li-ion
リチウムイオン電池

索引

メニュー一覧は45 ～ 48ページをご覧ください。

■ 製品についてのサポートのご案内

ホームページで調べる

"ハンディカム"の最新サポート情報
(製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など)
http://www.sony.co.jp/cam/support/

"ハンディカム"ホームページ
http://www.sony.co.jp/cam
"ハンディカム"の最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。

"メモリースティック"対応表
http://www.sony.co.jp/mstaiou
使用可能な"メモリースティック"を確認することができます。

付属ソフトウェア(PMB)のサポート情報
http://www.sony.co.jp/support-disoft/

電話で問い合わせる(ソニーの相談窓口)

●使い方相談窓口
フリーダイヤル.. 0120-333-020
携帯・PHS・一部のIP電話 0466-31-2511
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「400」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。
受付時間:月～金 9:00 ～ 18:00　土･日･祝日 9:00 ～ 17:00

●修理相談窓口
フリーダイヤル.. 0120-222-330
携帯・PHS・一部のIP電話 0466-31-2531
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「400」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。
受付時間:月～金 9:00 ～ 20:00　土･日･祝日 9:00 ～ 17:00

ホームページ　http://www.sony.co.jp/di-repair/

FAX(共通):0120-333-389

■ カスタマー登録のご案内

カスタマー登録していただくと、安心、便利な各種サポートが受けられます。
詳しくは、同梱のチラシ「カスタマー登録のご案内」またはご登録WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-usbregi/

カスタマー登録の特典については下記のURLをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-tokuten/

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1　　http://www.sony.co.jp/

この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、
VOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan

SONY
HANDYCAM
HDR-TG5V